

# Hockey World League Semi - Final (Johannesburg/RSA)

大会名	Hockey World League Semi - Final	日付	2017年7月22日
場所	Wits University, Parktown(RSA)	天候	晴れ
試合	5・6位決定戦	通算結果	4勝1分3敗

Country	RESULT	Country																
日本 JAPAN	1	2 南アフリカ South Africa																
<table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td>1P</td><td>0</td><td>-</td><td>0</td></tr> <tr><td>2P</td><td>0</td><td>-</td><td>2</td></tr> <tr><td>3P</td><td>1</td><td>-</td><td>0</td></tr> <tr><td>4P</td><td>0</td><td>-</td><td>0</td></tr> </table>			1P	0	-	0	2P	0	-	2	3P	1	-	0	4P	0	-	0
1P	0	-	0															
2P	0	-	2															
3P	1	-	0															
4P	0	-	0															

Start	No.	Name	備考
✓	1	景山 恵	GK
	5	2 浅井 悠由	
✓	3	錦織 えみ	
✓	5	及川 菜	
✓	6	内藤 夏紀	
✓	7	一谷 麻実	
	4	10 湯田 葉月	C
	4	11 一谷 奈歩	
✓	16	野村 香奈	
✓	17	永井 葉月	
✓	18	真野 由佳梨	
✓	19	加藤 彰子	
	4	20 清水 美並	
	4	21 永井 友理	
✓	22	狩野 真美	
	5	23 瀬川 真帆	
✓	25	河村 元美	
		27 田中 秋桜	GK
ヘッドコーチ		アンソニー ジェイムス ファリー	
UMPIRE		McCLEAN Ayanna (TTO)	

Start	No.	Name	備考
		3 EVANS Celia	
✓	4	WALRAVEN Nicole	
✓	7	DAVIDS Illse	
✓	10	ONES Shelley	
✓	11	ONES Shelley	
✓	13	DEETLEFS Lisa-Marie	
	8	17 MANUEL Candice	
	8	19 du PLESSIS Lilian	
✓	20	TERBLANCHE Nicolene	
	25	21 O'CONNOR Jessica	
	25	22 BAXTER Stephanie	
✓	23	COSTON Bernadette	
✓	24	MBANDE Phumelela	GK
	25	LA FLEUR Nicole	GK
✓	27	MAYNE Jade	
✓	28	BOBBS Quanita	
	9	29 GLASBY Tarryn	
✓	30	DAMONS Sulette	C
監督		ROSTRON Sheldon	
UMPIRE		SUTTON Suzi (USA)	

Country	Min	Name	Action	Score
JPN	35	永井 友理	FG	1-2

Country	Min	Name	Action	Score
SA	18	du PLESSIS Lilian	PS	0-1
SA	23	GLASBY Tarryn	FG	0-2

今大会の日本の最終戦となる5・6位決定戦は、地元は南アフリカとの対戦。大勢の南アフリカサポーターが詰めかける中、完全アウェイの中での一戦となった。

**1 Q**  
南アフリカ日本のセンターパスにより前半戦が開始される。立ち上がり、日本はディフェンスラインから素早く右サイドにボールを展開し、右ポケットでボールをレシーブした#16野村がブッシュでサークル内の#18真野に繋ぎ、ヒットシュートを放つが相手GKに阻まれる。その後、アウトレットが安定しない日本はパスミスからボールを奪われ、サークル侵入からシュートを打たれる場面があったが、GK景山が防ぐ。13分には、日本は#19加藤がサークル右サイドの回り込みからゴール前にパスを通し、絶好の得点チャンスを創るが惜しくも合わせられない。逆にその直後、ターンオーバーから南アフリカに攻め込まれ、PCを取得される。4連続のPCとなるが、GK景山を中心とした守備陣の粘りにより、得点を許さず、このピンチを凌いだ。

**2 Q**  
第2クォーターは立ち上がりから南アフリカに攻め込まれ、苦しい時間帯が続く。18分、PCを取得され、それを守り切ったと思ったが、PSの判定。#19 du PLESSIS Lilianに決められ、先制点を奪われる。その後も南アフリカに攻め込まれ、23分には、サークルトップのフリーヒットからゴール前にリードしていた#29 GLASBY Tarrynにボールが渡り、リバースでシュート。それがゴールを割り、2点差とされる。終了間際に日本はPCを取得するも、決めることが出来ず前半を0-2で折り返す。

**3 Q**  
後半、早い時間帯に一点を返したい日本は、立ち上がりから前線でプレスを仕掛け、南アフリカの攻撃を封じ込む。35分、日本は中盤で南アフリカのボールを奪い、左サイドにポジションを取っていた#2浅井にボールが繋がり、そこから右からサイドの#21永井友理にパス。それをレシーブした永井はドリブルでサークルへ侵入し、右45度付近からヒットシュートを放つ。それが見事に決まり、1点を返す。その後も日本は終始攻め続けるも決定的な場面は創れず、第3クォーター終了。

**4 Q**  
運動量の落ちてきた南アフリカに対し、日本はボールポゼッションを高め、コートを大きく使い、左右に揺さぶりをかけながら、南アフリカ陣内で試合を進めるが、守りを固める南アフリカの守備をなかなか崩すことが出来ない。試合時間が残り5分になったところで、GK景山をベンチに下げ、パワープレーで勝負に出る。57分、南アフリカが左サイドから攻撃を仕掛けてくるボールを奪い、一気にターンオーバーから右トップフォワードの#25河村へボールが繋がり、右サイドからサークル内ゴール前にセンタリング。惜しくも合わせられない。終了残り数秒前にも絶好の得点チャンスを創るものの、決めきれずタイムアップ。南アフリカに対して、1-2の惜敗。今大会の最終戦を勝利で飾ることが出来ず、結局6位で大会を終えた。

日本	1	PC数	6	
	6	シュート数	4	アイルランド